



今年もマガンがやって来ました！

マガン初飛来！！

9月19日昼、伊豆沼の南側にある飯島地区の水田で今年初飛来のマガン14羽を確認しました。

マガンの飛来は、平年(21日飛来)より、2日早く、昨年(13日飛来)より6日遅い飛来です。

遠くからやってきたマガンたちは、さすがに疲れていたのか、眠ったり、水を飲んだりしていました。10月になると、マガンのほかハクチョウなども続々飛来し、これから伊豆沼・内沼は鳥の楽園となっていきます。



新生サンクチュアリセンターへようこそ！！

リニューアルオープン後のセンターには、地元の小中学校からも環境学習で子どもたちが訪れています。触れて体感できる展示物が充実したセンターで、子どもたちは楽しみながら見学していました。

栗原市立若柳小学校



マガンの一日の行動がわかりました



展示を見て勉強中です！



実物のハスを持ってハイ、チーズ！



鳥について、たくさん質問しました

登米市立新田小学校



あそこが伊豆沼だよ！



この魚の名前わかるかな？



沼には、たくさんの水生植物があるんだね



伊豆沼のことを教えてくれてありがとうございました！

洪水に溺れそうになったハス

9月11日の豪雨で被害にあわれました皆さまにお見舞い申し上げます。伊豆沼・内沼でも、ハスが増水の影響を受けました。葉が水に浸かりましたが、全てが水没することなく、なんとか持ちこたえました。

現在、ハスが枯れた部分と、青い部分とに分かれています。枯れた部分は、増水の時、ハスの背が低くて、葉が水に浸かってしまったところからです。青い部分のハスは、少しだけ背が高くて、水の上に葉が出ていました。水草なのに増水には弱いハス。今年の大雨でも、そんな姿が見られました。



水をかぶったハスの葉

第4回 伊豆沼・内沼自然体験講座



つかご漁体験では大物を捕まえました



定置網漁体験



柴漬漁体験

9月26日(土)に、第4回伊豆沼・内沼自然体験講座「伊豆沼漁師体験」を開催しました。沼の漁師が行なう、定置網漁や柴漬漁、つかご漁を体験しました。特に、つかご漁体験では参加者した子どもたちが、夢中になって魚を追いかけていました。

栗原市民まつりに参加しました

8月29日(土)の「2015栗原市民まつり」に参加しました。財団のコーナーでは、沼に生息している魚類と水生植物を展示しました。当日は、雨で悪天候でしたが家族連れを中心に約400人が訪れ、普段見られない生き物の姿を楽しんでいました。



魚や水生植物について、スタッフが解説しました！

伊豆沼・内沼は栗駒山麓ジオパーク

栗原市が進めてきた「栗駒山麓ジオパーク」が、9月4日に認定されました。

このジオパークには、伊豆沼・内沼も含まれています。伊豆沼・内沼のテーマは、平野部の洪水の歴史と自然の恵みです。先日の豪雨で、改めて知らされましたが、平野部は洪水地帯。先人達はダムもポンプも無い中で四苦八苦しながら生活を築いてきました。そんな、栗駒山麓の地形がもたらしてきた歴史や自然を、サンクチュアリセンターでも紹介しています。また、ジオパークを題材にした小中学生向けの学習会も行っています。



学習会では沼に入って、水生植物を観察しました(栗原市瀬峰中学校)

〈事務局〉
(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
〒989-5504 宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味17-2
Tel:0228-33-2216 Fax:0228-33-2217
E-mail: izunuma@circus.ocn.ne.jp
ホームページ: <http://izunuma.org/>